

《最近の県内経済》 (2025年8月を中心として)

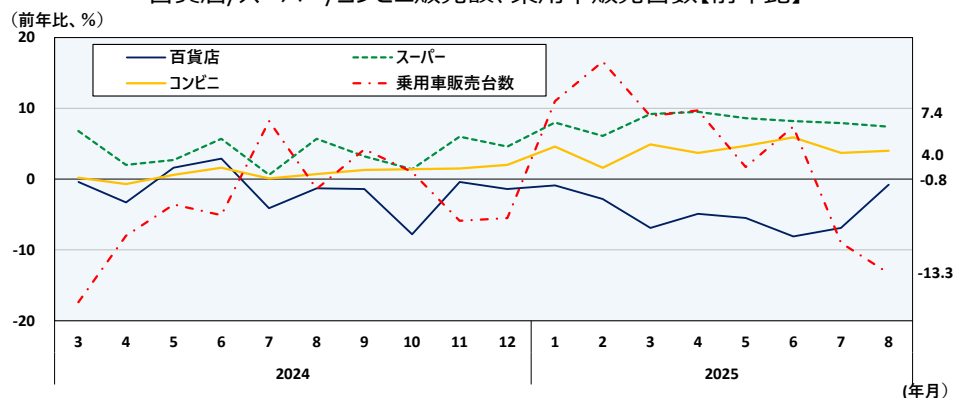
今月の概要

緩やかに持ち直している



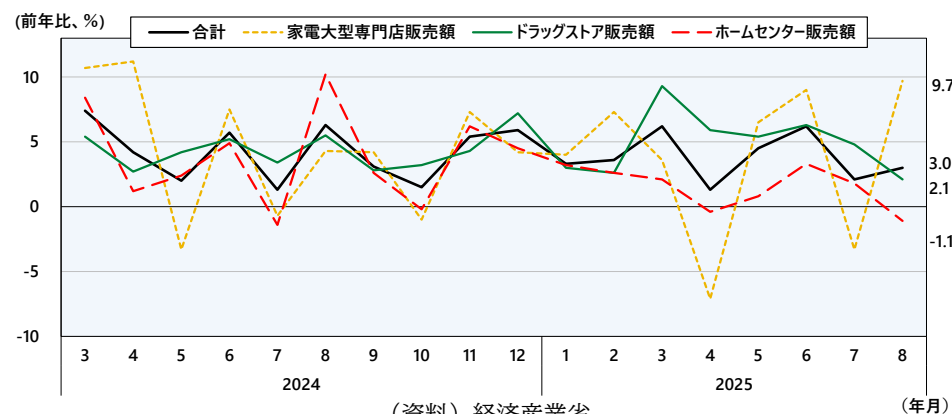
1 個人消費 ~緩やかに持ち直している →

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

8月の百貨店およびスーパーの販売額(店舗調整前)は、百貨店は103億円で前年比0.8%減(14か月連続の減少)、スーパーは1,212億円で同7.4%の増加(35か月連続の増加)となった。また、コンビニ販売は625億円で同4.0%増加(16か月連続の増加)した。7月に続き8月も記録的な猛暑を受け、夏物商材が好調であった。

また、乗用車販売は、前年比13.3%減と2か月連続の減少となった。内訳をみると、普通車が同15.3%減(2か月連続の減少)、小型車が同13.8%減(2か月連続の減少)、軽自動車が同10.5%減(2か月連続の減少)となった。物価高騰や車両値上げによる購買意欲の低下、一部車種における納期の長期化や受注停止もあって販売減少となった。

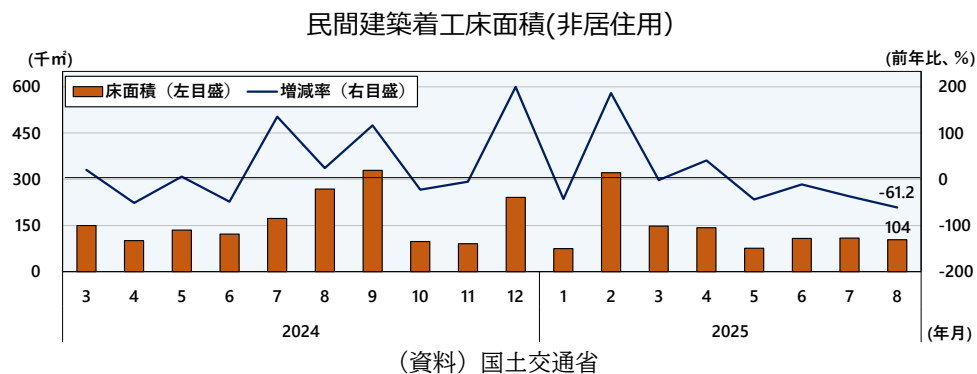
8月の専門量販店販売額は846億円で前年比3.0%増と35か月連続で増加した。内訳をみると、家電大型専門店が196億円で同9.7%増(2か月ぶりの増加)、ドラッグストアが458億円で同2.1%増(39か月連続の増加)、ホームセンターが191億円で同1.1%減(4か月ぶりの減少)となった。

家電大型専門店では、買い替え需要が伸長したパソコン、好調が続く携帯電話などの販売が増加した。

ホームセンターでは、昨年増加した防災用品需要の反動減の影響もあり減少した。

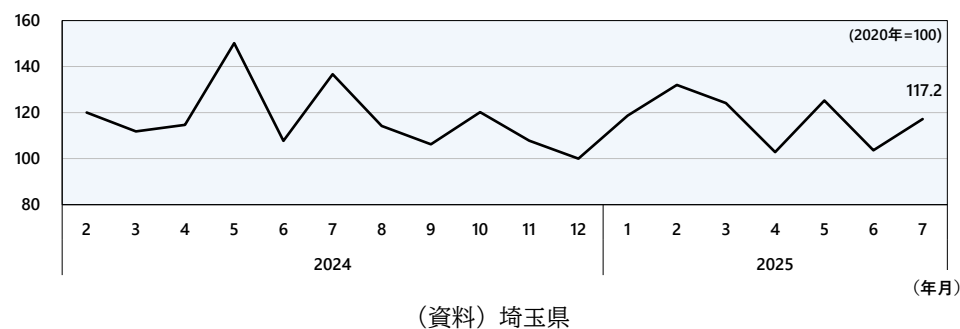
関東1都6県の消費者態度指数(原数値)は、7月<34.9>、8月<35.5>、9月<35.8>と推移している。

## 2 設備投資 ~持ち直している →



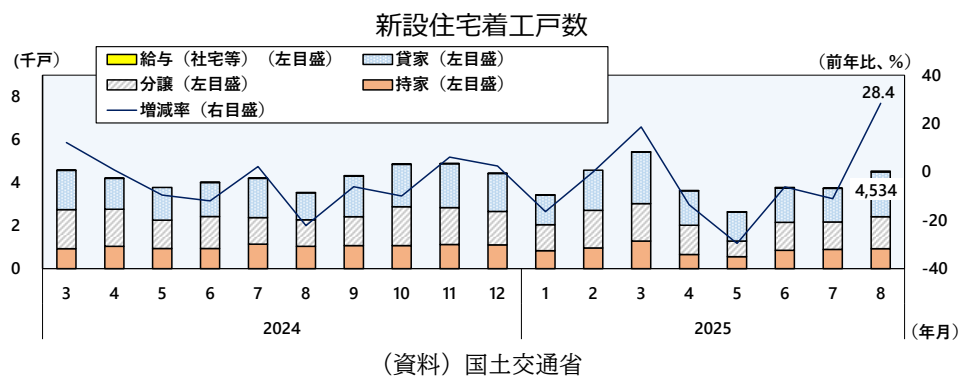
8月の民間建築着工床面積（非居住用）は、104千㎡で前年比61.2%減少した（5か月後方移動平均では、前年比横ばい）。用途別にみると、事務所、店舗、病院・診療所は増加したものの、工場及び作業場、倉庫、学校の校舎は減少した。

## 資本財出荷指数(季節調整済)



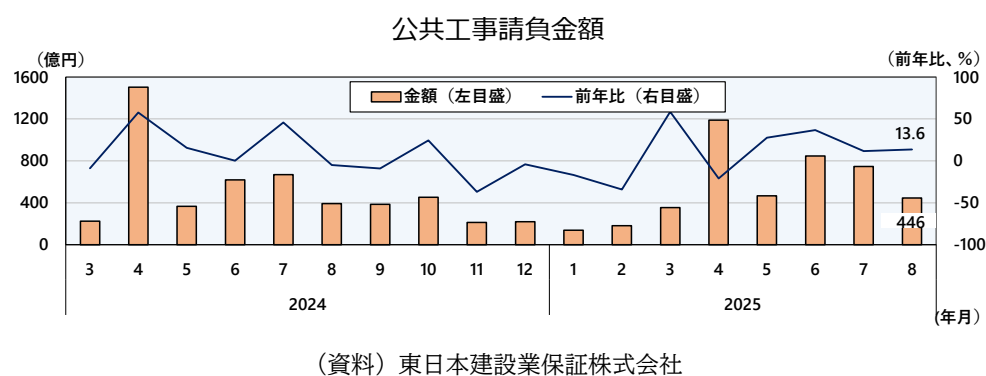
7月の資本財出荷指数（季節調整済）は117.2で、前月比13.1%増加した（5か月後方移動平均では、前年比7.8%減少）。

## 3 住宅建設 ~弱含んでいる →



8月の新設住宅着工戸数は、4,534戸で前年比28.4%増加した（5か月後方移動平均では7.1%減）。利用関係別にみると、持家（927戸）が同10.5%減となったものの、貸家（2,076戸）が同64.9%増、分譲マンション（432戸）が同39.4%増、分譲一戸建て（1,044戸）が同13.1%増となった。

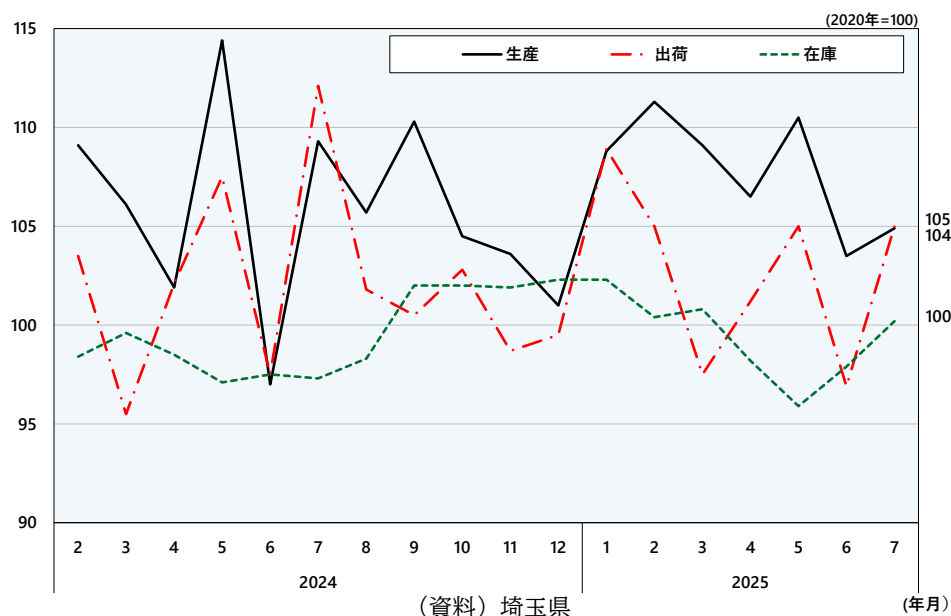
## 4 公共工事 ~底堅く推移している →



8月の公共工事請負額は446億円、前年比13.6%増加した。5か月後方移動平均でも前年比4.1%増で推移。発注者別の前年比をみると、国、独立行政法人等、都道府県は減少したものの、市区町村、地方公社は増加した。

## 5 生産活動 ～一進一退 →

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)

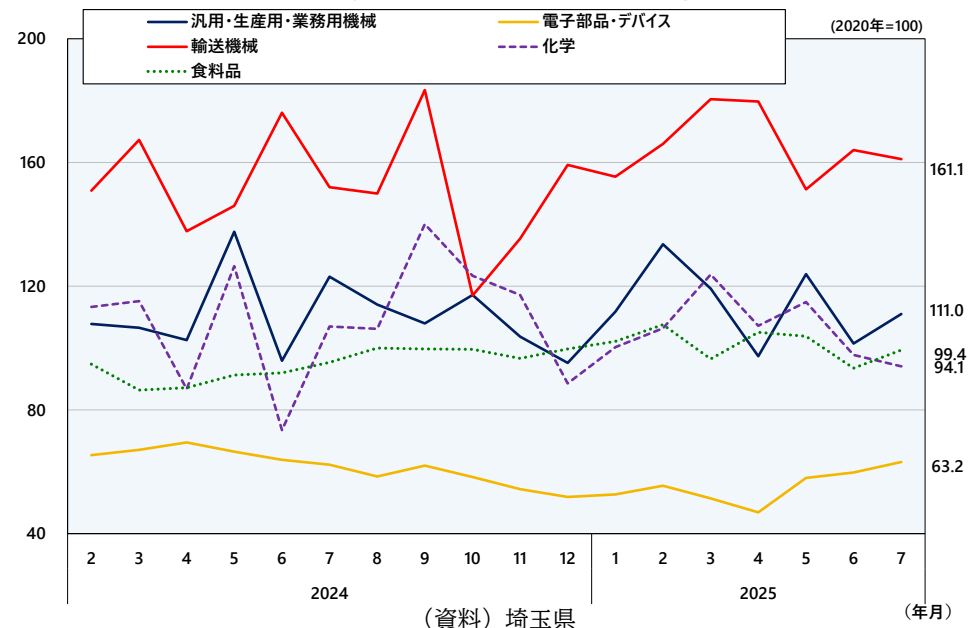


7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、104.9で前月比1.4%増加(2か月ぶりの増加)した。化学(医薬品、ウレタンフォーム)、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)などが低下したが、食料品(氷菓、チョコレート類)、生産用機械(半導体製造装置、食料品加工機械)などが上昇した。

出荷指数(同)は、105.0で同8.4%増加(2か月ぶりの増加)した。輸送機械(乗用車、自動車エンジン)、業務用機械(精密測定機、分析機器)などが低下したが、化学(医薬品、化粧品)、生産用機械(半導体製造装置、食料品加工機械)などが上昇した。

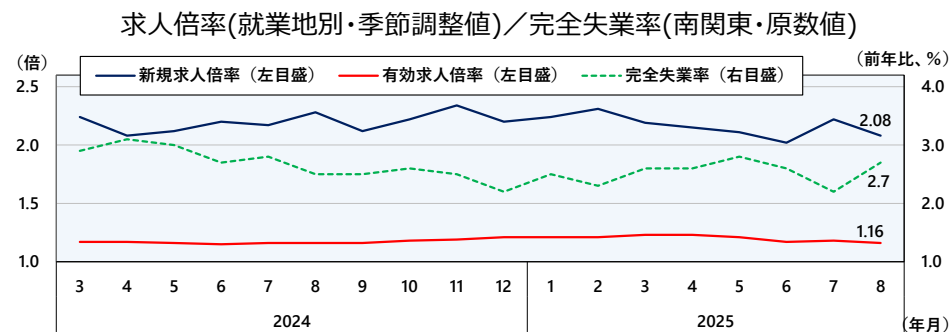
在庫指数(同)は、100.2で同2.3%上昇(2か月連続の上昇)した。生産用機械(整地機械、食料品加工機械)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、雑板紙)などが低下したが、プラスチック製品(プラスチック製容器、プラスチック製建材)、情報通信機械(金銭登録機(端末機能付)、ガス警報器)などが上昇した。

主要業種の生産指数(季節調整済)



- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、111.0で前月比9.4%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、63.2で同5.7%上昇し、3か月連続の上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、161.1で同1.8%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 化学(同)は、94.1で同3.8%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 食料品(同)は、99.4で同6.3%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

## 6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している ➡

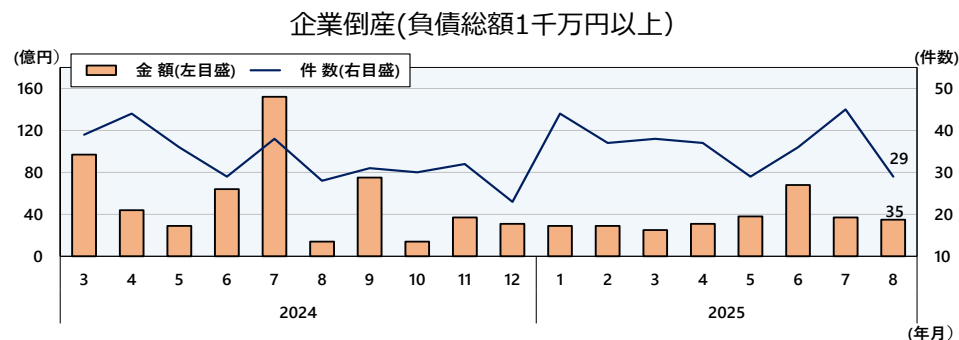


(資料) 厚生労働省、総務省

8月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.16倍で前月比0.02ポイント低下した。新規求人倍率(同)は、2.08倍で同比0.14ポイント低下した。

また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.7%で前年同月比0.2%上昇した(前年同月比7か月ぶりの上昇)。

## 7 企業倒産 ~緩やかな増加基調にある ➡

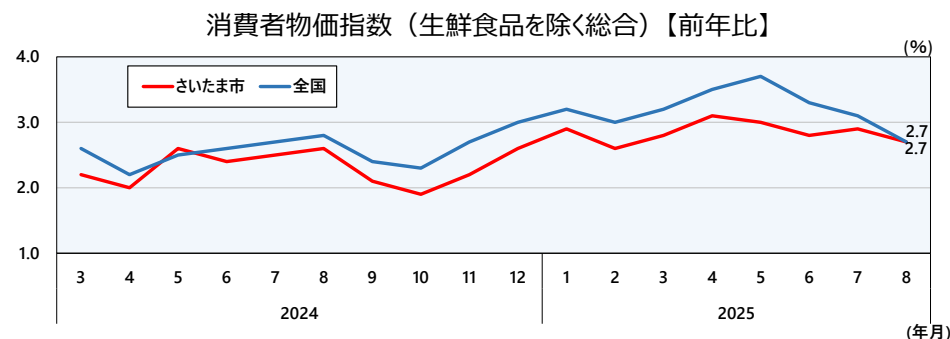


(資料) 帝国データバンク

8月の企業倒産件数は29件で前年同月比1件増加した。また、負債総額は35億円で同比22億円増加した(5か月移動平均では、件数は前年比横ばい、負債総額は同18億円の減少)。

業種別にみると、建設業が最多で9件、次いで卸売業、サービス業がそれぞれ7件となっている。主因別では、販売不振が23件となっている。

## 8 消費者物価 ~緩やかに上昇している ➡

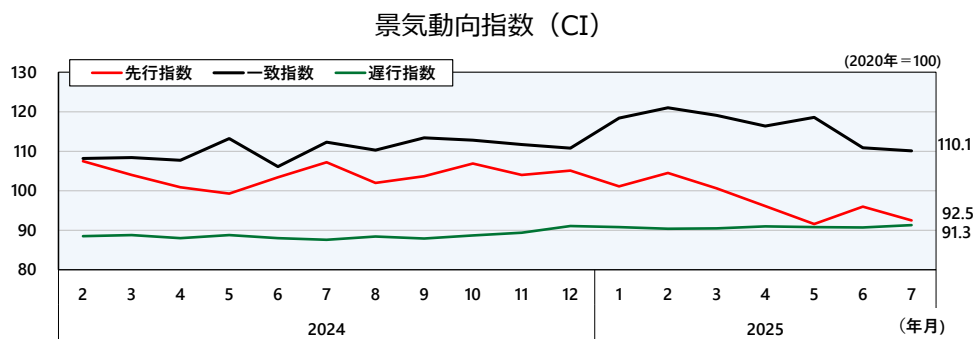


(資料) 総務省

8月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、110.6で前年同月比2.7%上昇した(47か月連続の前年同月上昇)。

食料(穀類)、通信(通信料(携帯電話)など)などが上昇し、全体を押し上げている。

## 〈参考〉景気動向指数(CI) ~足踏みを示している



(資料) 埼玉県

- 7月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、110.1で前月比0.7ポイント下降し、2か月連続の下降となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、92.5で同2.8ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、91.3で同0.5ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。